

令和 6 年度 矢沢明朗大学閉講式 ご案内



○と き 令和 7 年 2 月 21 日 (金)

○ところ 矢沢振興センター大広間

○内 容

✿ 矢沢明朗大学第 10 回講座

9 時 30 分～10 時 40 分 (上映時間: 68 分)

(DVD鑑賞会:

「綾小路きみまろ爆笑! エキサイトライブ集」)

● 一般の方のご来場も
歓迎いたします。

✿ 第 45 期矢沢明朗大学閉講式
10 時 50 分～



＝ 矢沢地区地域リーダー研修会 ＝ ～ 市民憲章の役割とは ～

2 月 10 日、矢沢振興センターにおいて、花巻市市民憲章推進協議会会長の三田望さんを講師にお招きして、リーダー研修会が開かれました。

三田先生は「明るいイーハトーブの実現をめざして～市民憲章の役割とは～」と題して、35 名の各種団体の役員を対象に、1・花巻市市民憲章制定までの歩み、2・花巻市市民憲章推進協議会、3・花巻の市民憲章、4・これからの市民憲章の役割について、の 4 点についてこれまでの長年にわたる実践を通して得られた豊富な体験を噛み砕いて説明していただきました。お話の中に矢沢ゆかりの方のお名前も出てきて親近感も湧いてきました。新しい時代に即した心優しい社会の実現を目指したいものです。



三田望先生



熱心に聞き入る各種団体の役員

◎ 介護予防講座が始まりました!

今年度も矢沢地域振興会では、幸齢者介護予防講座を 6 回にわたって開催します。

その第 1 回として 2 月 3 日に高橋良子 (よしこ) 先生の指導で 3B 体操が行われました。

この日は立春とは名ばかりで底冷えのする日でしたが、参加した 13 名の方は元気よく 3B 体操に取り組んでおられました。



高橋良子先生



2 回目の介護予防講座はジャズ体操で躍動!



佐々木八重子先生: 2 月 10 日: 13 名参加

第49回 花巻市民劇場公演のお知らせ

花巻市民劇場では、東十二丁目出身で、明治時代にメキシコ植民団に加わり、太平洋を渡った照井亮次郎の物語を「君たちはメキシコでどう生きるか＝照井亮次郎開拓記」と題して下記の日程で2日間公演します。

地元出身の偉人を題材にした生の演劇を是非ご覧ください。

期 日：・2月22日(土)

午後6時30分～

・2月23日(日)

午後2時00分～

会 場：花巻市文化会館

大ホール

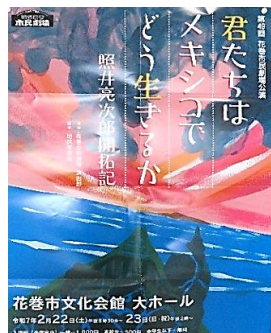
入場料：一般：1,000円

高校生：500円

中学生以下：無料

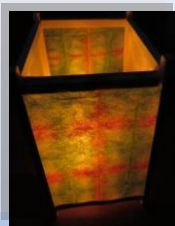
花巻市文化会館

(☎：24-6511)



2月5日、花巻市食生活改善推進協議会矢沢支部では、矢沢振興センター談話室で講座を持ちました。今回は赤津有美先生の指導で成島和紙を使ったランタンの作成に取り組みました。

男性2名を含む会員18名は手作りの美しいランタンの出来栄に大満足でした。



♡ こども広場のスタッフが子育て中の親子さんをお待ちしています！

【3月は5日(水)&12日(水)】



食改協矢沢支部「ランタンづくり」に励む



【事務局員のつぶやき】(今年は気象業務開始150周年です！)

気象庁の前身である東京気象台が明治8年に観測を始めてから今年で150周年を迎え、気象庁ではキャンペーンを行っています。そこで気象庁の歩みを主な気象事業の展開と、日本各地に大きな影響を与えた自然災害から主な事例を下記に抽出しました。

これだけでも日本は自然災害との戦いの中にあることがお分かりいただけることでしょう！



「歩み続けて
150年
防ぎ
守る
未来」

気象庁記念ロゴマーク & キャッチコピー

明治8：東京気象台業務開始
明治17：天気予報・震度観測開始
明治29：明治三陸地震
大正3：桜島大正大噴火
大正12：関東大震災・盛岡測候所開設
昭和7：富士山頂観測所設置
昭和8：昭和三陸地震
昭和11：岩手山測候所開設
昭和13：高層気象観測開始
昭和19：東南海地震
昭和21：南海地震
昭和22：カスリン台風
昭和23：アイオン台風
昭和29：気象レーダー運用開始・洞爺丸台風
昭和31：気象庁と組織名改称
昭和32：盛岡地方気象台と組織名改称
昭和34：数値予報開始・伊勢湾台風
昭和35：チリ地震津波
昭和36：三陸フェーン災害・山火事続発
昭和38：昭和38年1月豪雪
昭和40：富士山レーダー完成
昭和43：十勝沖地震津波
昭和46：大気汚染気象予報開始
昭和49：アメダスの運用開始
昭和52：有珠山噴火
昭和53：静止気象衛星ひまわり観測開始・宮城県沖地震
昭和55：降水確率予報開始・戦後最大の昭和の冷害(-1.9度)

●様々な自然災害
・地震・津波・噴火
・台風・低気圧
・前線の大雨&暴風
・豪雪・冷害
・フェーン現象等

戦前は
冷害・干害に
よる飢饉頻発

昭和56：台風第15号
昭和62：温室効果ガス濃度観測開始(綾里)
平成3：計測震度計による震度観測開始・雲仙岳噴火
平成5：気象予報士制度創設・北海道南西沖地震・平成の大冷害(-2.7度)
平成7：阪神・淡路大震災
平成8：気象庁ホームページ開設
平成15：冷害(最も直近の冷害・-1.8度)
平成16：新潟県中越地震・台風10個上陸
平成17：土砂災害警戒情報運用開始
平成19：緊急地震速報一般提供開始・噴火警報運用開始・秋雨前線と低気圧による東北の大雨(9月・豊沢で総降水量300mm)
平成20：岩手・宮城内陸地震
平成23：東日本大震災
平成25：特別警報運用開始
平成26：御嶽山噴火
平成27：平成27年9月関東・東北豪雨
平成28：熊本地震・平成28年台風第10号(岩泉)
平成29：危険度分布運用開始(愛称キキクル)
平成30：北海道胆振東部地震・平成30年7月豪雨
令和元：南海トラフ地震臨時情報運用開始
令和元年東日本台風(台風第19号)
令和2：令和2年7月豪雨
令和3：顕著な大雨に関する気象情報運用開始
令和4：線状降水帯による大雨事前情報運用開始
令和6：能登半島地震・低気圧と前線による大雨(9月)

冷害の気
温は盛岡
の夏の平
均気温偏
差を表す